

令和7年度 第5回牧区地域協議会

日時：令和7年8月21日（木）

午後6時30分～

会場：牧区総合事務所 3階 301会議室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 報告事項

- (1) 令和7年度地区懇談会の開催結果（概要）について・・・・・・・・・・資料No. 1

4 自主的な審議

- (1) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について・・・・・・・・資料No. 2

5 その他（連絡事項）

- (1) 次回会議の開催予定日について

6 閉 会

令和 7 年度地区懇談会の開催結果(概要)について

資料No.1

1 参加者数

日時	会場	参加者数		
			男性	女性
8 月 5 日（火） 19:00～20:00	原集会所	10 人	8 人	2 人
	棚広新田集会所	6 人	5 人	1 人
8 月 6 日（水） 19:00～20:00	川上会館	9 人	9 人	0 人
	沖見会館	10 人	10 人	0 人
8 月 7 日（木） 19:00～20:00	牧コミュニティプラザ	17 人	16 人	1 人
	計	52 人	48 人	4 人

2 主な意見

右別表のとおり

3 今後の対応

(1) 出された意見・要望への市の対応

各会場で出された暮らしに関わる意見・要望について、市で対応できるものは速やかに実施するほか、検討や調整を要するものは引き続き対応していく。

(2) 開催結果の区内共有

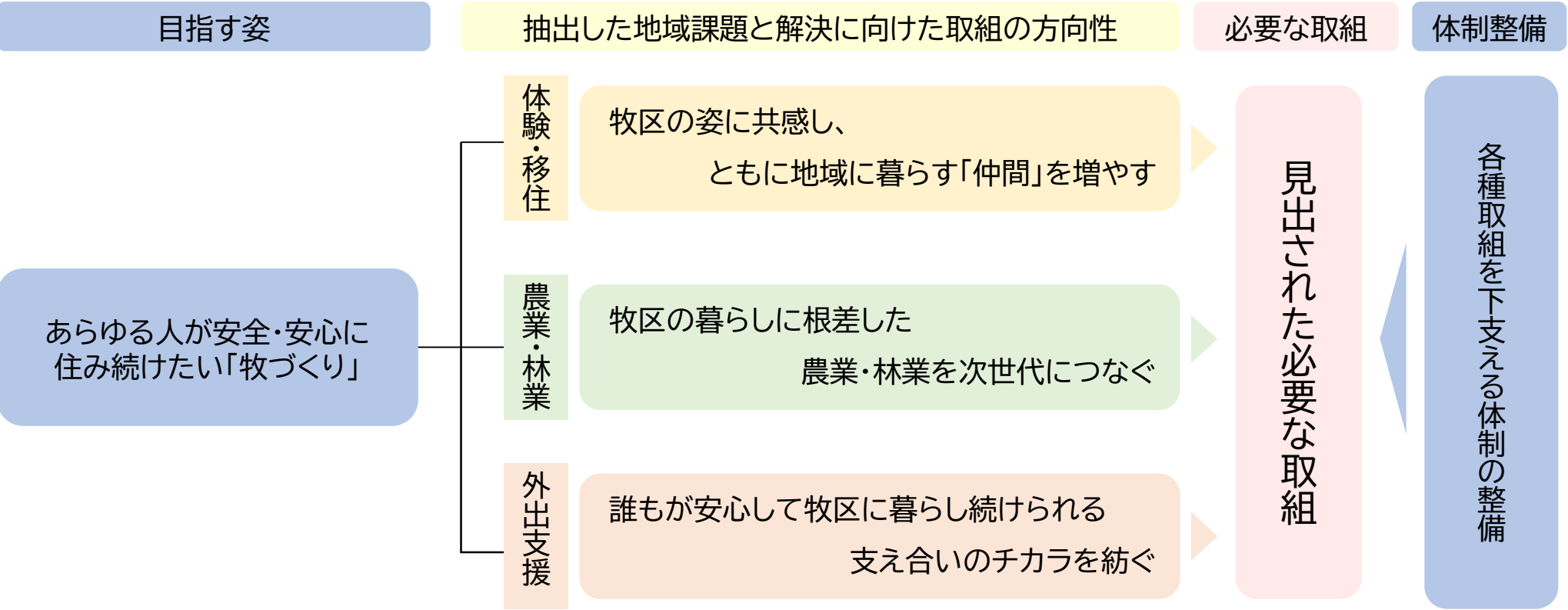
出された意見とこれに対する市の回答・対応を資料にまとめ、町内会長便による回覧にて情報共有する。

(3) 牧区地域協議会における自主的審議事項での活用（牧区地域協議会への提案）

「話題提供」として牧区地域協議会の審議状況を伝えたこともあり、自主的審議事項に関連する取組の提案や意見が複数出されたことから、牧区地域協議会において今後の審議に活用していただきたい。

【別表】地区懇談会で出された主な意見等

区分	意見等	市の回答（当日）
体験・移住	① 町内会では空き家が増えている。移住者の受入れにもつながるので、活用を考えていく必要がある。 ② 移住者が町内会の規約をよく理解していなかった例があった。ルールはあらかじめ知らせておく必要がある。	活用可能な空き家や町内会のルールといった情報は、移住者受入れを進めるに当たっての重要な基盤情報であるので、町内会の皆さんからも協力いただきながら、整備を進めていく必要があると考えている。
農業・林業	① ヨモギの栽培・出荷に取り組んでいるが、葉こきと乾燥が大変。そのまま出荷できるようになってほしい。 ② 移住者の呼び込みに力を入れるとのことだが、自分の農業を継いでくれる人を呼び込んでほしい。	① J A えちご上越に相談する。ヨモギは旺盛な需要があると聞いており、生産拡大は農地保全にもつながると考えられる。 ② 定住支援コーディネーターが窓口となり、就農希望者とのつなぎ役にもなりたい。市内でも、移住した若者が指導を受け、そのまま経営を引き継いだ例がある。
外出支援	① 予約型コミュニティバスは一度乗り始めると便利で大変ありがたい。	① 引き続き、積極적으로ご利用いただきたい。
中学校の利活用	① 区内の公共施設はどれも老朽化しており、中学校に集約しては。 ② スポーツ施設としての転用や学生寮、宿泊施設としては。 ③ 企業に貸し付けては。	牧区地域協議会において今後審議いただくことになっており、提案を参考にさせていただきたい。
その他要望等	① 携帯電話の電波が全く入らない場所があり、電波環境の改善を要望してほしい。 ② 除雪作業によると思われる道路の損傷個所が複数あるので、対応をお願いしたい。 ③ 高齢化が進み、集落内の草刈りが困難になっている。市道草刈りでも除草剤を使用できるようにしてほしい。	① 市の担当課に確認する。各キャリアのホームページで電波改善要望が出せるので、要望してほしい。 ② 具体的な場所を示していただければ、道路管理者におつなぎする。 ③ 負担軽減の観点から、市道管理においても除草剤が使用可能となるよう、担当課に提案する。



牧区地域協議会の役割

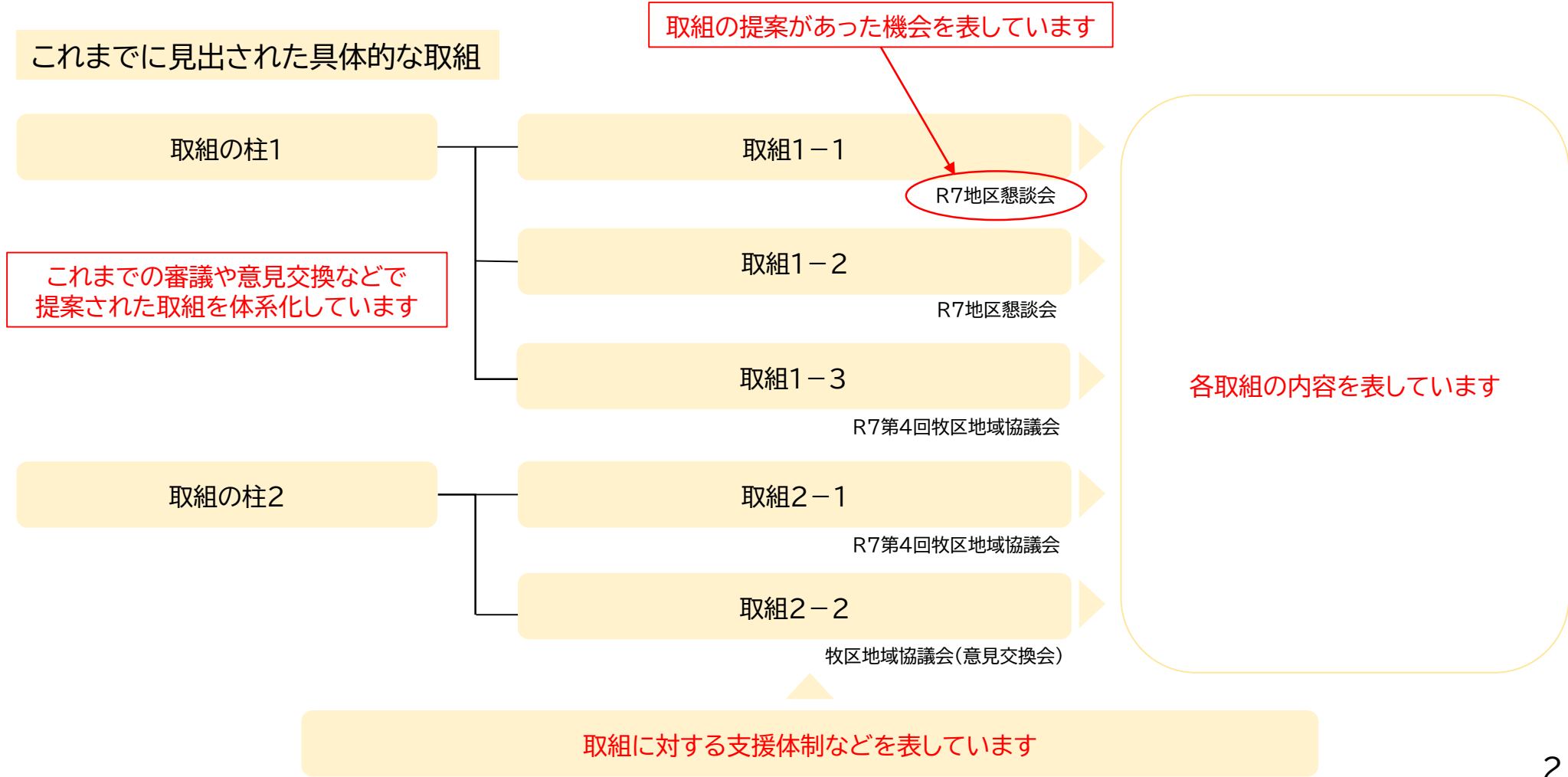
- 1. 把握した地域課題の解決に向けて地域内で話し合いを進め、必要な取組(解決策)を見出す
- 2. 見出した必要な取組の主体となり得る人・団体(市を含む)に対して取組を促すべく、地域内での調整を行う
- 3. 見出した必要な取組の展開状況を把握し、必要に応じて取組の見直しなどを行い、目指す姿の実現を図る

➡ これまでの審議や取組、意見交換会や地区懇談会を通じて得られた意見を元に、
牧区の目指す姿の実現に向けて必要な取組をテーマ別に具体化する

テーマの名称

次ページ以降の取組体系化資料の見方

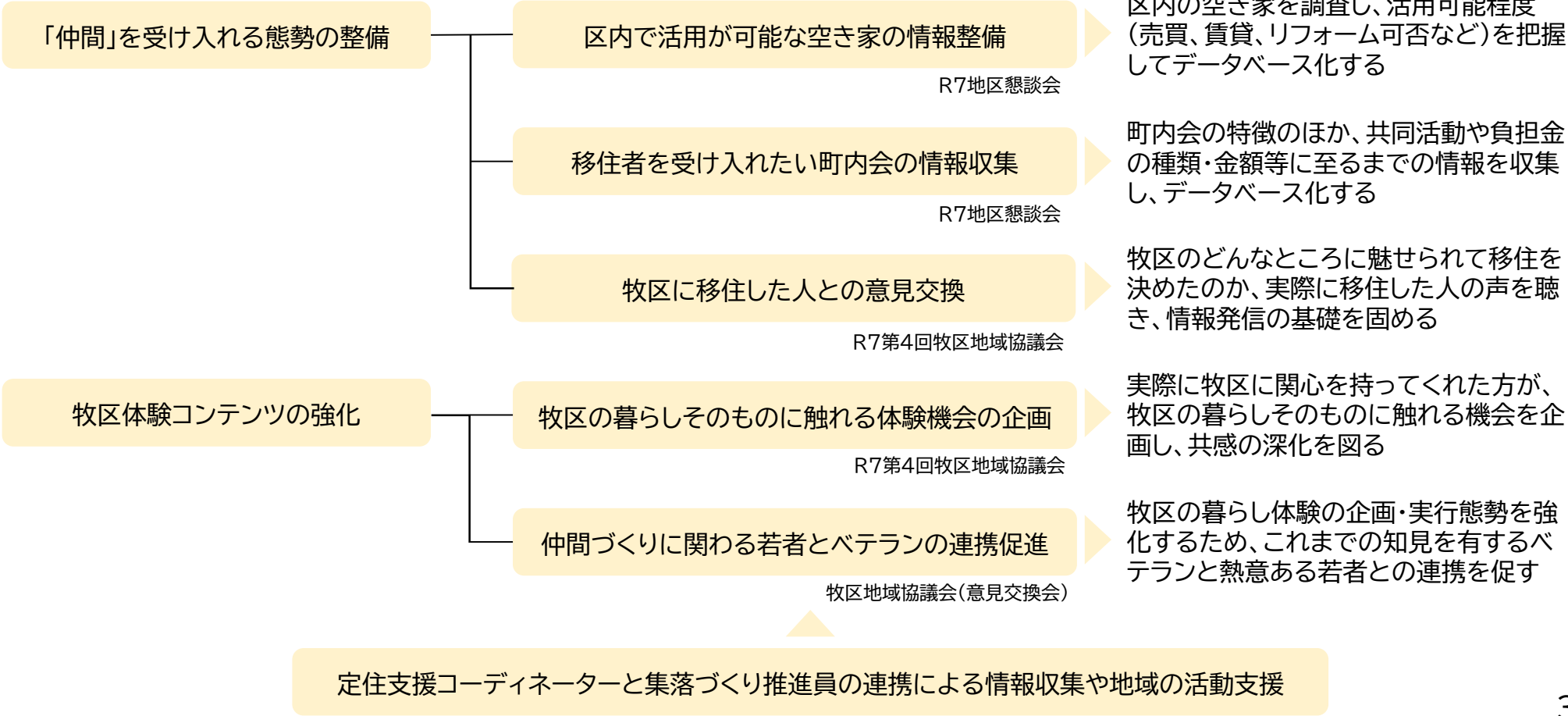
テーマの取組方向性を表す一言(ワンフレーズ)を表しています



体験・移住

牧区の姿に共感し、ともに地域で暮らす「仲間」を増やす

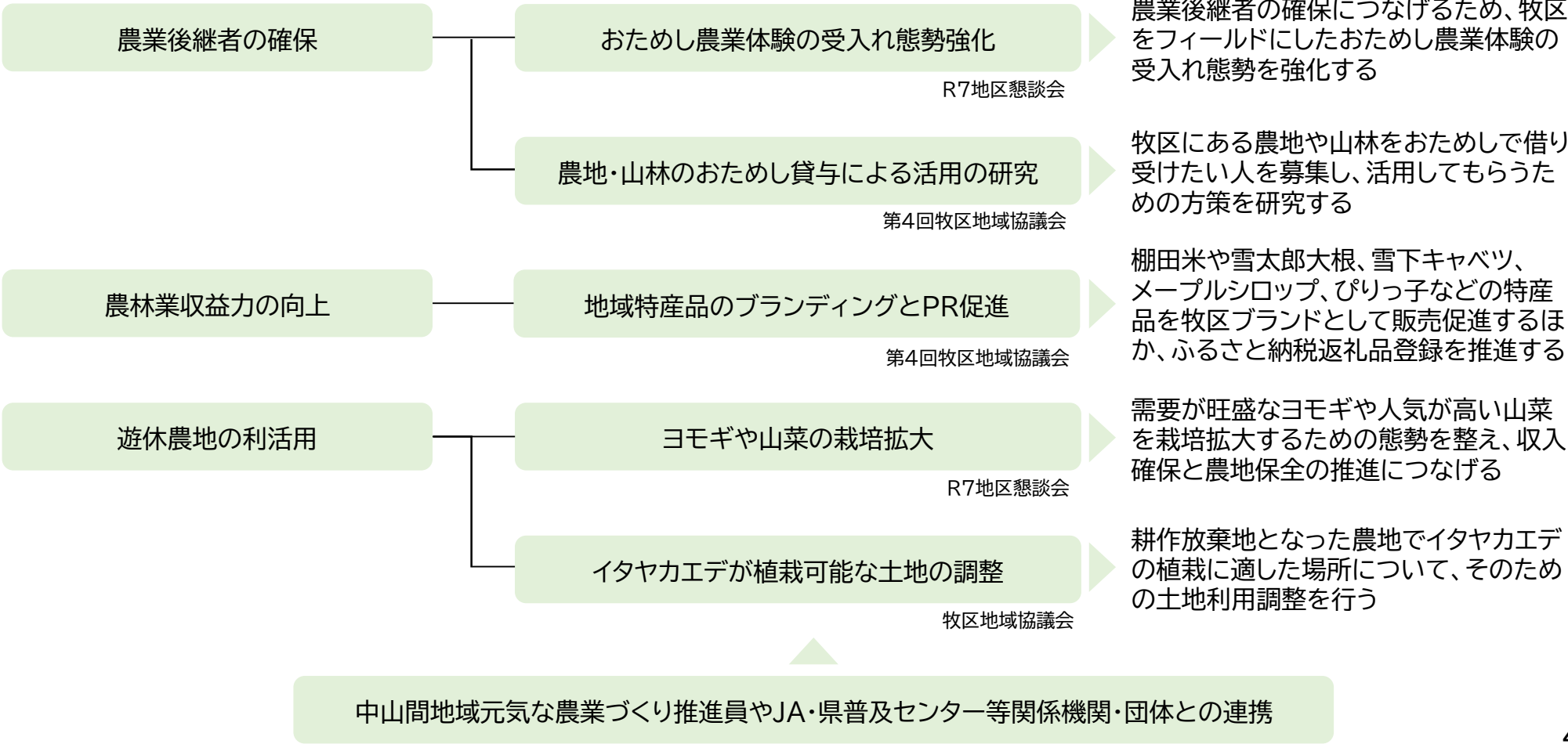
これまでに見出された具体的な取組



農業・林業

牧区の暮らしに根差した農業・林業を次世代につなぐ

これまでに見出された具体的な取組



外出支援

誰もが安心して牧区に暮らし続けられる支え合いのチカラを紡ぐ

これまでに見出された具体的な取組

気軽に外出できる支え合い体制づくり

高齢者の幅広いニーズに応じた外出支援
牧区地域協議会

特定非営利活動法人牧振興会が実施している高齢者の買い物支援を多方面に展開するための研究・協議を行う

ご近所で一緒に出掛ける支え合い体制づくり
第4回牧区地域協議会

ご近所の高齢者と温浴施設などと一緒に出かけの機運を高めるとともに、取り組む人への支援策を研究する

予約型コミュニティバスの利用促進
R7地区懇談会

予約型コミュニティバスをもっと気軽に使えるよう、実際の利用例などをPRし、高齢者以外の人への利用促進を図る

みんなで集える居場所づくり

中学生・高校生の居場所づくり
第4回牧区地域協議会

学校帰りなどで家族の迎えを待つ間、自習や友人との交流などができる「学生の居場所づくり」を研究する

気軽に集まれる地域の茶の間づくり
R7地区懇談会

高尾集落で行われていた「お茶飲み散歩」のように、気軽に誰もが参加できるお茶飲み会の実施について研究する

集落づくり推進員や住民組織、公民館等との連携による情報収集や地域の活動支援